

第3学年 社会科学習指導案

日 時 令和元年 7月 5日

対 象 第3学年1組 28名

授業者 I. E.

- 1 単元名 「もっと知りたい みんなのまち」(全20時間)
「見たい!聞きたい!伝え隊!~私たち町の宣伝マン~」(全10時間)

- 2 小単元名 「わたしたちのまちはどんなまち」(全11時間)

3 小単元の目標

- ・自分たちの住んでいる身近な地域の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設の場所とはたらき、交通の様子などを調べ、地域の様子は場所によって違いがあることに気づく。
- ・地域に対する愛着をもち、地域社会の一員としての自覚を育んでいく。
- ・集めた情報や自分の考えを発表し合い、全体で共有したり目的をもって発信したりする。(総合)

4 観点別評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
① 自分たちの住んでいる身近な地域や区の様子を大まかに理解し、場所によって違いがあることがわかる。 ② 方位や基本的な地図記号の意味について理解している。	①自分たちの住んでいる身近な地域や区の様子から学習問題を見だし、考えている。 ②身近な地域や区の様子は、場所によって違いがあることについて考え、適切に表現している。	① 自分たちの住んでいる身近な地域や区の様子に関心をもち、それを意欲的に調べ、それらの特徴を考えようとしている。

5 単元について

(1) 新学習指導要領との関連

本小単元は、新学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

(1) 身近な地域や区の様子について、学習問題を追究・解決する活動を通して次の事項を身に付けることができるようにする。

ア 身近な地域や自分たちの区の様子を大まかに理解し、場所による違いを考え、表現すること。

イ 観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

(2) 教材について

本単元は、低学年の生活科を受けて、自分たちの暮らしを成立させている身近なまちや区を中心に、地域の様子について調べる学習を展開する。探検・発見の期待や喜びが、その後の活動を支える意欲となるであろう。

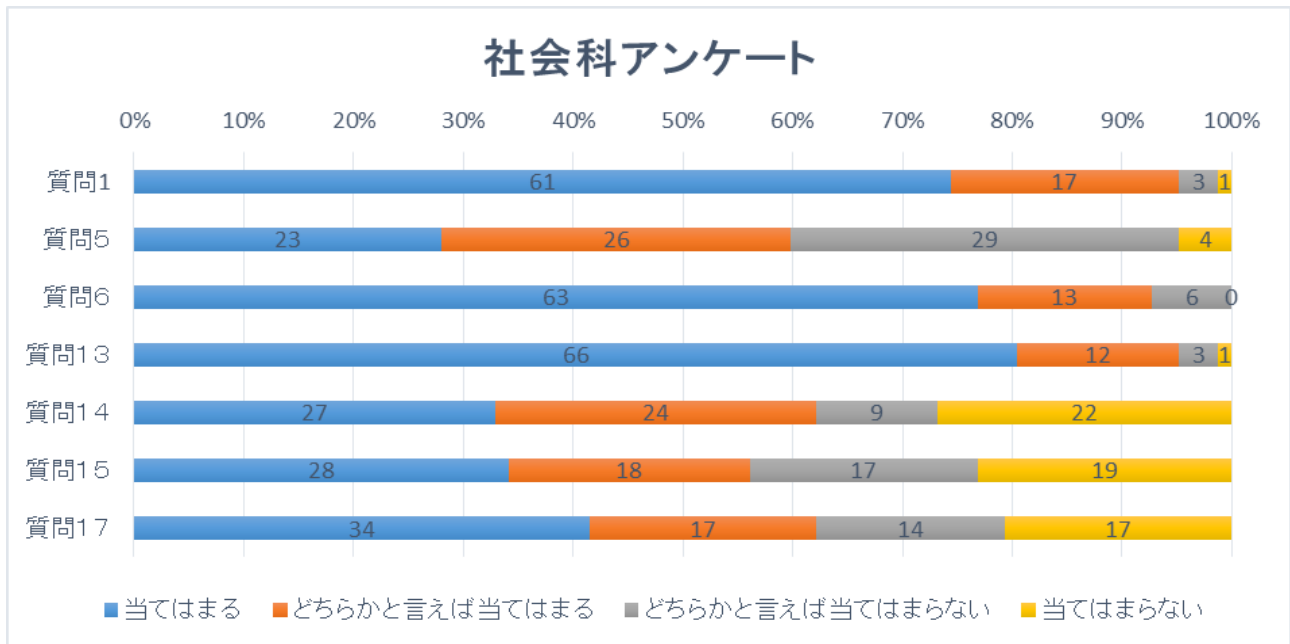
子どもたちは、自分が住む地域について意外と知らないことが多い。まず、学区域を探検し、わかったことや知りたいことを出しあい、その後3つのコース（東地区、西・北・親和地区、南地区）に分かれ、改めて詳しく調査する。（道路の広さや交通量、公共施設や店、マンションや家並み、道路標識など）3コースに分け、それぞれ絵地図にまとめさせることで、より地域の違いがとらえやすくなると考える。絵地図の作成を通して、方位や主な地図記号についての基礎的な知識も理解させる。

この学年は、昨年まち探検をしていないので、今回の学習の中でその経験をさせたい。地域や保護者の方々の協力を得て地域の13カ所の主な場所に見学に行き、実際に公共施設や工場・店などを見学したり、地域の人々とふれあったりすることを通して、地域社会の一員としての自覚や、地域に対する愛着を育むことをねらう。ふれ合いサロンの方々からも、地域の様子についてお話を伺う機会を得た。

本単元は、総合的な学習の時間の「見たい！聞きたい！伝えたい！～私たち町の宣伝マン～」との合科学習とし、社会科として学習したことを保護者・教職員への発表会という形でまとめていく。

(3) 児童の実態

・アンケート実施（対象 第3学年 82名 実施日6月10日）



本児童は、社会科を初めて学習する学年である。質問1「社会科の学習は楽しい」の問いに、95%以上の児童が肯定的な回答をしており、社会科に高い意欲を示している。しかし、質問17「新聞やニュースをみるのが好きだ」は37%が否定的な回答をしており、社会的事象への関心が薄く、現在の生活経験や知識の補充を必要と感じていない児童がいることも分かる。

質問5「なぜ、どうしてと思ったことを自分で調べることが得意だ」は43%の児童が否定的な回答をしている反面、質問6「見学に行って調べるのが好きだ」、質問13「友達と協力して学習すること

が好きだ」は95%以上の児童が肯定的な意見である。このことから、調べること自体は好きだが、調べるための手段や方法を考えることに困難を感じている児童が多いことが分かる。

質問14「自分の考えや調べたことを発表することが好きだ」、質問15「自分の考えや調べたことを発表することが得意だ」では否定的な回答をしている児童が多く、調べてまとめたことを全体に共有することを苦手と感じている児童が多いことが分かる。

以上のことから、導入を大切に、明確な学習問題を設定し友達と協力しながら調べていくことで、身近な地域に関心を持たせていく必要がある。また、まち探検から得た知識のまとめ方や発表の仕方を工夫し、よりよい発表会を行えるような指導計画が必要と考えた。

6 研究主題に迫るための手だて

【研究主題】

21世紀型の学力を育む学習方法の研究

～ICT機器の効果的な活用を通して～

<目指す児童像>

問題を見だし、具体的な資料を活用しながら、協働的に学習できる児童

(1) 教材・教具の工夫

- ・探検してわかったことやもっと知りたいことをグループ内で共有するため、個々に色別カードに書いたものを、模造紙にテーマごとにはり学習課題を見つけさせる。
- ・子どもたちはバランスよく縮尺することが難しいので、白地図の主要道路だけは教師が描いておく。
- ・自分たちが撮ってきた写真を使って、絵地図やプレゼン資料を作らせる。

(2) 学習活動の工夫

- ・学区域探検 → 3コース（東、西・北・親和、南）に分かれて探検 → 各地域の中の主な場所の見学と範囲を狭めながら、学習課題を調べていく。
- ・3コースのグループの協働作業を中心とすることで、まとめの発表を興味深く聞き、自分が調べた所と他地域の違いを比較しやすいようにする。
- ・ふれ合いサロンの方々から地域の話を伺い、自分たちが見てきただけではわからない情報を得る。
- ・13カ所の見学は保護者の協力を得て、安全に且つ適切に行えるようにする。
- ・総合的な学習の時間「見たい！聞きたい！伝え隊！～私たちの町の宣伝マン～」との合科学習とする。

(3) ICT機器活用の工夫

- ・探検時に荷物が多いと不便であることと、友達と相談しながら協働作業ができることから、2人で1台のタブレット端末を使用する。
- ・見学で撮った写真や動画は、コースごとにロイロノートの資料箱に入れて活用する。
- ・交通量の違いは、動画で撮影して比べる。

7 教材構造図

中心概念

自分たちの住んでいる地域には、色々な公共施設や建物があり、道路や交通の様子が地域によって違う。

具体的知識

・東西南北をまとめて四方位といい、正しい方位を知るときに方位磁針を使用する。
①②

・自分たちの住む地域は様々な建物や交通の様子がある。
時代とともに建物や交通の様子は変わっている。
③④⑤⑥⑦⑧

・地図記号は地図の中で地形、道路、施設、土地の状況などを分かりやすく表現するために効果的である。
・地図は通常、北を上にして作られている。
⑨⑩⑪⑫

・東地区は、公共施設が多いという地域の特徴がある。
・南地区は、大きな通りがあり、お店が多くあるという特徴がある。
・西地区は、狭い道が多く昔ながらの町工場が残っているという特徴がある。
⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑

用語等

・方位磁針
・四方位
・東西南北

・交通
・公園
・消防署
・学校
・警察署
・神社
・コンビニエンスストア
・〇〇通り
・商店街
・工場
・マンション

・地図記号
・絵地図
・白地図

・公共施設
・社会福祉会館
・町工場
・標識
・高齢者施設
・児童館

8 小単元の指導計画（全21時間）

*⑧・⑬～⑳は総合的な学習の時間とする

	時	○学習活動	◇支援・手だて【評価】
第一 次	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">まちをしょうかいし合おう。</div> <p>○まちでよく行く場所やおすすめの場所を紹介し合い、気がついたことを話し合う。</p> <p>○紹介した場所がまちのどのあたりにあるかを話し合い、関心を深める。</p>	<p>◇よくあそびに行く場所やおすすめの場所を、理由とともに発表させる。</p> <p>◇学区域地図を用意し、大まかな位置関係を意識させる。</p> <p style="text-align: right;">【主①】</p>
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">まちを見わたそう。</div> <p>○学校の屋上から前時に紹介した場所がどこにあるのか、また、学校のまわりには何があるのかを大まかにつかむ。</p> <p>○タブレット端末を使って、目立つ建物を写真に撮る。</p> <p>○四方位について、方位磁針を使ったり体を動かしたりして確かめ、まちの様子を方位で言い表す。</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習問題 自分たちが住んでいるまちは、 どんなまちなのだろう。</p> </div>	<p>◇前時とのつながりを大切にし、おすすめの方法や自分の家などを探して位置を伝え合う活動を行う。その中で、方位で言い表すことの必要性に気づかせる。</p> <p>◇自分の立ち位置から見て、方位を考えるようにさせる。</p> <p>◇タブレット端末で撮った写真で確認させる。</p> <p style="text-align: right;">【知②】【主①】</p>
	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">まちたんけんの計画を立てよう。</div> <p>○調べたい場所や調べたいことを話し合う。</p> <p>○たんけんの方法を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目は全員で学区域を、2回目は3コース（東地区、西・親和・北地区、南地区）に分かれてたんけんする ・道路、交通量、公園、公共施設、店、建物などを中心に ・タブレット端末は2人で1台 ・学区域の地図（メモができる余白あり） ・安全に探検するためのルール 	<p>◇前時までの学習をふり振り返りながら、調べてみたい場所や施設を考えさせるようにする。</p> <p>◇学区域とは何かを理解させる。</p> <p>◇目的をもってたんけんに行けるように視点をはっきりもたせる。</p> <p style="text-align: right;">【思①】【主①】</p>

第二次	4 ・ 5	学区域をたんけんしよう。	<p>○公共施設や公園、目立つ建物、道路や交通量などを中心にまちの様子を見て、気づいたことをメモする。</p> <p>○気づいたことを話し合う。</p>	<p>◇学区域の外周を歩き、学区域の広さやまちの様子などを意識させる。</p> <p>◇学区域の地図を持たせ、気づいたことをメモさせる。</p> <p style="text-align: right;">【思・判・表①】</p>
	6 ・ 7	コース別に分かれてたんけんしよう。	<p>○公共施設や公園、目立つ建物、道路や交通量などを中心にまちの様子を見てくる。わかったことや疑問に思ったことをメモする。</p> <p>○メモしてきたことを色別カード（わかったことはピンク、疑問は黄色）に書き、模造紙にテーマ別にはり共有する。</p> <p>○一覧表をもとにグループごとに話し合い、各地域の特徴をつかむ。</p>	<p>◇交通量の違いを見るために、3分間でどのくらいの交通量があるか、動画で記録させる。</p> <p>◇個別に記録してきたことを共有するため、わかりやすく色別にして一覧にする。</p> <p>◇内容を確認する時に、タブレット端末でとった写真を活用させる。</p> <p style="text-align: right;">【思・判・表②】【主①】</p>
	⑧	ふれ合いサロンの方々から、お話を聞こう。	<p>○地域の様子についてお話を聞き、自分たちが見てきただけではわからない情報を得る。</p> <p>○前時同様、色別のカードに書き、一覧表に付け加える。</p>	<p>◇ふれ合いサロンの方々にも3方面に分かれていただき、それぞれのグループごとに話を聞きメモを取らせる。</p> <p style="text-align: right;">【思・判・表①②】</p>
	9 ・ 10 ・ 11	絵地図を作ろう。	<p>○自分たちが撮った写真を使って、絵地図を作る。</p> <p>○方位の表し方や地図記号の役割を知る。</p> <p>○発見したことや紹介したいことは、吹き出しに書く。</p>	<p>◇絵地図の主要道路は教師側で描いておく。</p> <p>◇方位・地図記号について指導し、その利点を考えさせる。</p> <p style="text-align: right;">【知②】【思②】</p>
	12	絵地図を見て考えよう。	<p>○まとめた絵地図から、たんけんした地区の特徴をグループで考え、キャッチコピーを作る。 (例) 大きな通りとお店がたくさんある南地区</p>	<p>◇特徴について考えさせ、短い言葉で表現させる。</p> <p style="text-align: right;">【主①】</p>

第 三 次	⑬ ・ ⑭ ・ ⑮	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">もっとまちの様子を調べよう。</div> <p>○公共施設やお店など実際に行って調べたい場所を考える。</p> <p>○聞きたいこと・調べたいことをまとめる。</p> <p>○見学する。</p> <p>○見学してわかったことをまとめる。</p> <p>○追加したい情報は、絵地図に加える。</p>	<p>◇まちの中の「もの」だけでなく「人」にもふれ合うことで、より身近な地域を感じられるようにする。</p> <p>◇子どもたちから希望があがった場所の中から、先方と条件があった場所に見学に行かせる。</p> <p>◇インタビューのスキル・マナーについて指導する。</p> <p>◇写真撮影について許可を取っておく。</p>
	⑯ ～ ⑳ (本時) ・ ㉑	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">発表会をしよう。</div> <p>○発表会の計画をたてる。</p> <p>○写真を選び、順番を考え必要なものにはタイトルを入れる。(ロイロノート)</p> <p>○役割分担をし、発表原稿をつくる。</p> <p>○練習する。</p> <p>○発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス (本時) ・保護者向け (明日の土曜授業) <p>○地域の特徴についてまとめる。</p>	<p>◇お互いの情報を共有するため、学習したことを保護者に伝えるため、の発表会であることを知らせる。</p> <p>◇情報番組のような構成で考えさせる。</p> <p>◇絵地図と写真両方を使わせる。</p> <p>◇地域の特徴や個別に行った場所の様子がわかる写真を選ばせる。</p> <p style="text-align: right;">【思・判・表②】</p>

9 本時の指導 (20時間目 / 全21時間)

(1) 目標

- ・自分たちの住むまちについて調べたことを発表しあうことで、地域によって違いがあることに気づく。

(2) 授業を見る視点

① 教科の観点

- ・グループ活動を中心に発表形式にしたことで、地域の特徴のちがいに気づくことができたか。

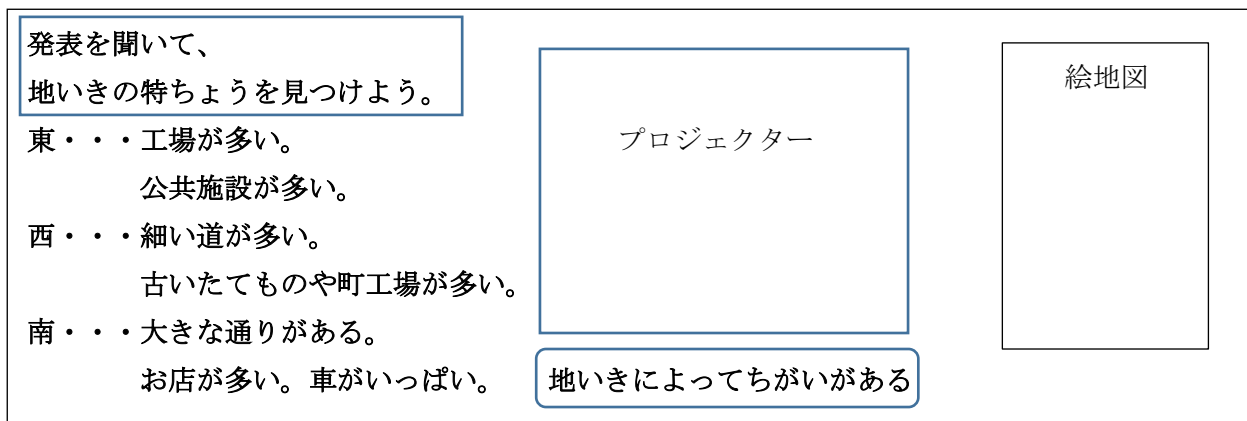
② ICTの観点

- ・ロイロノートの資料箱を活用し、写真を取捨選択しながらプレゼンを作り発表することは、地域の特徴を伝える手だてとして有効であったか。

(3) 本時の展開

	○学習活動 T：教師の発問 C：予想される児童の反応	◇指導・支援 ☆ICT機器活用のポイント 評価【評価規準】(方法)
導入	○前時までの学習を振り返る。 T：発表する時にどんなことに気が付いたらいいですか。 ○本時のめあてを知る。	◇発表する時は、相手に伝わるように工夫させる。 ・話すスピード ・声の大きさ ・視線 等
	発表を聞いて、地いきの特ちょうを見つけよう。	
展開	○自分たちが調べたことを、絵地図とロイロノートを使って発表する。 1グループ1台 T：調べた地域の特徴がわかるようにまとめてくれたので、発表してもらいます。聞いている人は、自分たちとの違いを見つけながら聞きましょう。 ○わかったことを共有する。 T：東地区はどんな地いきでしたか。 C：工場がたくさんある。 C：公共施設がたくさんある。 T：西地区はどんな地いきでしたか。 C：細い道がたくさんある。 C：古い建物や町工場が多い。 T：南地区はどんな地いきでしたか。 C：明治通り（大きな通り）があって、車がたくさん走っている。 C：お店がたくさんある。	◇3つの地域ごとに情報番組風に発表させる。 ☆ロイロノートのプレゼン用写真を使わせる。 ◇発表を聞く時は、自分たちの地域との違いを見つけながら聞き、わかったことはメモさせる。 ◇ワークシートを用意する。 ◇1グループが終わるごとに、特徴を確認する。
		<p>A 私たちが住むまちは、地域によって違いがあることに気づき、その特徴についても理解している。</p> <p>B 私たちが住むまちは、地域によって違いがあることに気づいている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等②】 (発言・ワークシート)</p>
まとめ	○本時を振り返る。 T：発表を聞いてどんなことがわかりましたか。 C：地いきによっていろいろなちがいがある。	◇3つの地域ごとに押さえる。
	わたしたちが住むまちは、地域によってちがいがある。	
	○次時の見通しをもつ。	◇明日の保護者への発表に向け、改善点があれば話し合っておくよう伝える。

(4) 板書計画



(5) ご協力いただいた場所

